

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	中山間総合整備事業(情報基盤施設整備事業)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	企画部	課等名	秘書広報文書課		包含する細々目	1	6	1	7	22	1		
政策	9 市民と共に進める行政経営												
施策	92 情報共有の促進												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	関連計画 条例等		飯田市地域情報化基本計画 飯田市情報化アクションプラン 中山間総合整備事業実施計画				
		事業期間	14	年度～	19	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	下久堅、上久堅、龍江、千代地区に居住する市民	竜東4地区の対象世帯数(戸)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			2964		2964		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	高度情報化社会に対応した情報媒体を活用してもらう 農業情報番組を作成し情報発信することにより、農業・農村の振興を図る	竜東地区加入者数 + 加入希望者数(人)	18目標	1500	最終目標	2000	19
			18実績	1219	19目標	1500	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
		竜東地区におけるケーブルテレビカバー世帯率(%) (整備範囲の世帯数 / 対象世帯)	18目標	71	最終目標	100	19
		18実績	68	19目標	100	↑	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	市内の情報・情報インフラ較差を解消するため、民間による整備が行われない竜東4地区については公共事業を導入して情報基盤施設(ケーブルテレビ・通信)を整備する。 施設整備は県営事業として長野県が工事発注を行う。 総事業費:8億4千万円	18年度の実績 ・電柱共架、添架申請及び道路及び河川占用許可申請 ・竜東地区の伝送路整備工事(発注長野県)及び宅内工事の実施 ・18年度整備区域内の加入推進 ・農業情報及び地域情報番組の制作放送	整備区域内における加入世帯数	816戸
		19年度計画 ・電柱共架、添架申請及び道路及び河川占用許可申請 ・竜東地区の伝送路整備工事(発注長野県)及び宅内工事の実施 ・19年度整備区域内の加入推進 ・農業情報及び地域情報番組の制作放送	整備区域内における加入世帯数	1500戸

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	45,441	29,248
	事業費計(A)	45,441	29,248
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,800	19年度 1,800
	臨時職員等所要時間	1,600	1,600
	人件費計(B)	8,157	8,157
	トータルコストA + B	53,598	37,405

特定財源内訳や補足事項  
 県営 中山間総合整備事業  
 (補助:国55%、県30%、市15%の事業であり、市は15%分を負担金として県へ支出する)

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	情報を共有する	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合	現状値	64.2	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<p>竜東地区は、集落・人家が散在し、かつ複雑な地形であるため民間事業者による情報インフラ整備が進まず、竜西地区との情報インフラ較差が生じていた。</p> <p>飯田市地域情報化基本計画によりケーブルテレビが地域情報媒体の中心に位置づけられている。</p>	<p>県の財政改革推進プログラムにより、事業予算が減少し事業完了期間が平成19年度まで延長されている。</p>	<p>竜東総合開発整備推進委員会(4地区の自治会役員と市議会議員等により構成)を窓口として、事業の推進及び早期完了に対する強い要望がある。</p>

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>平成19年度に対象エリア内全域の整備を完了させる。</p> <p>加入推進を10月までに実施し、加入数を目標に近づける。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>事業着手前に使用電柱の契約(改修)を完了させる。</p> <p>利用しやすい加入コース設定の検討。</p>

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	